

産地活性化総合対策事業の薬用作物等地域特産作物産地確立支援事業(薬用作物産地確立支援事業)

評価担当課 東北農政局生産部園芸特産課

事業実施主体	事業内容	事業費(円)		A : 計画以上の成果が見られる
八峰町	(1)検討会の開催 (2)実証ほの設置 【取組作物】 ジャーマンカミツレ、ウイキョウ、センキュウ、 キキョウ	2,212,802円 〔うち国費 1,977,462円〕	総合評価	Ⓑ : 計画通りの成果が見られる
				C : 計画通りの成果がみられない
			総合所見	事業で実証に取り組んだ4つの作物のうちセンキュウについては、実証試験の結果、地域の気候条件に合わないことが確認され、作付面積は減少したものの、主たる作物であるキキョウについては、作業内容の見直しにより作業労力の軽減が図られ、栽培面積の拡大を進めたこと等により、総栽培面積の達成率が9割を超える結果となった。更に令和4年では、キキョウ栽培面積は97aと順調に拡大し、総栽培面積は目標を上回る状況となっている。 目標のうち栽培面積又は生産量のいずれかの達成が要件となっていることから、栽培面積ではおおむね目標を達成していると判断し、今年度をもって評価を終了する。

評価観点ごとの所見

a 成果目標が達成されているか

総栽培面積	令和３年度目標	103 a	に対し、令和３年度実績	96 a	（達成率 93.2%）
（	ジャーマンカミツレ	14 a		23 a	164.3%
	ウイキョウ	8 a		4 a	50.0%
	センキュウ	1 a		0 a	—
）	キキョウ	80 a		73 a	91.3%
総生産量	令和３年度目標	13 t	（根等総量）に対し、令和３年度実績	1.6 t	（生薬重量のみ）（達成率 12.3%）
（	ジャーマンカミツレ	0.3 t		0.4 t	133.3%
	ウイキョウ	0 t		0 t	—
	センキュウ	0 t		0 t	—
）	キキョウ	12.7 t		1.2 t	9.4%

総生産量の達成率は１割程度であったが、これはキキョウについて、目標設定時の単収が生薬重量に加え規格部外品・廃棄部分を含めた根総量を基に設定された。これに対し、令和３年度実績では、収穫物の持ち込み重量を計測するにあたり、根に泥などの付着物があり正確な根総量の把握が出来なかったことから、生薬重量で計測された。この結果、目標達成率が低水準となっているが、生薬重量のみの単収ベースでは適正な範囲（現在参考にしている乾燥生薬単収110～200kgに対し、八峰町のほ場は最高乾燥単収139kg）であることが確認できた。

b 計画に即した取組が行われたか

ジャーマンカミツレについては、栽培・収穫方法を確立し農家への普及が図られ、栽培面積が拡大している。
ウイキョウ（売り先が未確定のため、生産量目標0tで設定）については、使用部位である若い種子採取に活用できる脱穀機が開発されたものの、販路の確保が達成されず、農家普及には至っていない（少量の収穫物については、香料としての商品化を目指し、関係会社へサンプルとして無償提供）。
センキュウ（売り先が未確定のため、生産量目標0tで設定）については、地域の気候条件等に合わないこともあり、単収増大を図ることが困難であることから、実証ほを取り止めた。
キキョウについては、追肥作業の改善により作業労力の軽減が図られ、栽培面積が拡大している。

c 予算の執行が適正に行われたか。また予算に見合った成果が出たか